

包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する

法文学部 教授 宮本 恭子

障がい者や高齢者の雇用の確保や自律した生活と経済成長の両立を期待できる地域資源を活用した農福連携事業の推進を検討しています。地域資源を活用することで、雇用や地域内での経済価値を創出することができます。雇用の機会を得ることが難しい障がい者や高齢者も、地域資源を使った多様な就労機会を得ることができます。また、地域の中で共に働くことで交流の場も増え、自分たちの生産活動が地域経済に貢献しているという自覚によって、働きがいや他者からの承認につながっています。島根県に自生するクロモジを活用することにより、お茶、化粧品、アロマオイルなどが製品化され、障がい者や高齢者のディーセント・ワークと地域経済への貢献という好循環につながっています。

また、外国人労働者の受け入れ拡大と介護現場の人材不足の対策として、介護現場では外国人労働者の受け入れが進んでいます。介護専門学校では外国人学生が急増しています。外国人労働者が介護現場で活躍でき、介護の質の向上につながるよう、介護現場で働く外国人労働者と介護学生に関する調査研究を行います。



就労継続B型支援事業所「さくらの家」



雇用と経済成長の概念図